

笑顔でつないだ希望の光

◎東京オリンピック2020聖火リレー



笑顔で聖火を掲げる河添千秋さん(写真上)と都能明莉さん(写真下)



聖火ランナーが聖火をつなぐトーチキス



4月22日、東京オリンピック2020聖火リレーが開催され、鬼北町役場前から道の駅森の三角ぼうしまで6人のランナーが聖火をつなぎました。

鬼北町の公募・推薦ランナーは、河添千秋さん=成藤=、都能明莉さん=芝=の2人。第1走者を河添さんが、アンカーを都能さんが務めました。各ランナーは、聖火が灯るトーチを掲げ、沿道にかけつけたたくさんの人に笑顔で手を振りながら力強く走りました。また、スポンサー企業による個性豊かな車がランナーとともに走り、沿道では、旗やタオルなどオリンピックグッズの配付も行われ、リレーを盛り上げていました。

河添千秋さんは、「暗いニュースが続く中、周りの人に笑顔を届けることができて良かった」とにっこり。都能明莉さんは「皆さんに笑顔を届けることができた。多くの人に応援していただき、とても光栄に思う」と話していました。

野菜の成長を楽しく学ぶ

◎鬼北おてがる農業倶楽部 開講式



4月10日、鬼北町農業公社で「鬼北おてがる農業倶楽部開講式」が開催されました。

収穫の喜びや農業の知識を学ぼうと家族連れなど21人が参加。昨年度から続けて参加している方や初参加の方もおられ、昨年度よりも参加者は増えました。職員から施設の説明などを聞いた参加者たちは、指導を受けながら、さっそく野菜の植え付けを体験。大きく成長することを願うようにミニトマトやきゅうりの苗などを丁寧に植えていました。

町内でワクチン接種始まる

◎新型コロナウイルスワクチン接種



4月12日、北宇和病院で医療従事者に対する新型コロナウイルスのワクチン接種が行われました。

使用されたワクチンは、アメリカの製薬大手ファイザーから供給を受けたもので、町内でワクチン接種が行われたのはこの日が初めてです。町内ではこの後、65歳以上の住民を対象に、4月30日から高齢者施設の入所者に対するワクチン接種、5月10日からは大野内科医院、篠原医院、日吉診療所で個別接種が開始されました。